

# 派遣留学生帰国報告書

\* 帰国（復学）後の情報を入力してください

記入日	2018年8月27日
所属学部	工学部
所属学科・専攻	情報画像学科

## 1. 留学先について

留学先大学名	スイス連邦工科大学							
留学先所属学部等	コンピューターサイエンス学部							
留学期間	出発日	2017年8月29日	入学日	2017年9月1日	修了日	2018年8月31日	帰国日	2018年8月26日
住居	<input type="radio"/> 大学（紹介）の寮・アパート		<input type="radio"/> 民間アパート		<input type="radio"/> その他（ ）			
	通学時間	25分				<input type="checkbox"/> On campus		
	通学方法	トラムと徒歩						
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	<input type="radio"/> ( 1 ) 人部屋		<input type="radio"/> その他（ ）			
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
食事	自炊	15 %	学食	60 %	外食	25 %	その他	0 % ( )
保険	海外旅行保険（名称）	t@bi ho海外留学保険						
	派遣先大学指定の保険（名称）	Swi sscare					<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ（飛行機）⇄ウィスコンシン（電車）							
	成田 ⇄		香港			⇄ チューリッヒ		

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	2,360,000 円						
出どころ							
自費	貯金	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	100,000 円	<input type="checkbox"/> その他	円	
援助	<input type="checkbox"/> 両親	1,100,000 円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円	
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO	960,000 円	<input type="checkbox"/> その他名称（ ）		円		
その他	<input type="checkbox"/> 千葉大学助成金	200,000 円	<input type="checkbox"/> その他（ ）		円		

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/> 現金	100,000 円	その他 ( )	円
留学中	<input type="radio"/> 海外送金	<input type="radio"/> キャッシング	その他 ( )	

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	クレジットカードで(教材はAmazon)
住居にかかった費用	郵便局に行って振り込み
その他	食費、教材費

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	フラン	1,772	20万	円
海外旅行保険	フラン	2,400	27万	円
CSSMA	フラン	265	3万	円
査証・在留許可証	フラン	88	1万	円
住居	フラン	6,650	75万	円
食費	フラン	8,500	85万	円
通学に要する交通費	フラン	886	10万	円
教科書、教材費	フラン	1,329	15万	円
その他大学に支払った経費	フラン	0	0	円
光熱費	フラン	0	0	円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex. 正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	○	無
1 Human Computer Interaction	正規	6	有	○	無
2 Visual Computing	正規	8	有	○	無
3 Introduction to Neuroinformatics	正規	6	有	○	無
4 Probabilistic Artificial Intelligence	正規	4	有	○	無
5 Introduction to machine learning	正規	8	有	○	無
6 Computational Statistics	正規	10	有	○	無
7 Big data for Engineers	正規	6	有	○	無
8			有		無
9			有		無
10			有		無

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

最初の2週間は自由に登録できるので、そこでたくさん授業を受けて自分にあったコースを探す。2週間すぎると、追加で登録はできないが、登録解除は試験の直前までできる。登録はMy studiesという学生のみがアクセスできるサイトで登録する。

## 3-2. 授業内容、方法に関して

コンピューターサイエンス学部は、座学と実習がセットになっているものが多かった。座学は教授が講義をし、実習はTAが教える。主に自習では講義で扱った内容をもう一度扱ったり、パソコンを使って具体的に試して見るものなどがあつた。

## 3-3. 語学力について

最初は授業についていけず大変だった。たくさん専門に関する教科書を読んだり、繰り返し授業のETHのVideoPortalで見返して、次第に慣れていった。VideoPortalは自宅からでもアクセスできるもので、いくつかの授業は全ての授業視聴することができる。

## 3-4. 図書館など学内施設について

図書館はメインビルディングの最上階にあつた。しかし勉強するスペースが少なく大抵生徒はキャンパス内の広場のようなところや大学のカフェで勉強している。大学内に大きいジムがあり、学業とスポーツ両方できるのが魅力だと思う。

## 3-5. その他

なし

## 4. 生活面

### 4-1. 住居について

4階建てで、160人で1つの共有スペースとキッチンを共有した。個人の部屋にはベット、机、洗面台などが揃っていた。トイレは各階2箇所ずつあり、特に不便を感じなかった。トラムステーションとバス停が寮の目の前にあり、交通の便もよかった。友達を作るのに適した環境だったと思う。

### 4-2. 食生活について

スイスに来たばかりの頃はほとんど自炊をしていたが、留学後半は大学の勉強が大変で自炊をする元気がなく、大抵学食か外食をしていた。学食は700円から2000円くらいした。外食はファストフードでも2500円くらいした。栄養のバランスが取れていなく、体調を崩しやすかった。

### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

渡航した時に、やっていたLebaraという携帯会社のキャンペーンでデータ使い放題で月5000円のプランに加入した。大学と寮のロビーはwifiが通っていた。

### 4-4. 服装について

9月の下旬にはかなり寒く、薄めのコートはその時から必須だった。12月や1月は氷点下になることがほとんどで、雪も多かった。ブーツは持っていなかったため、スニーカーで一年間乗り切った。大学内や寮の中は暖かいので、日本で使うダウンジャケット以上は必要なかった。

### 4-5. 健康管理について

食事に栄養バランスが取れていなく、風邪気味になることは多かったと思う。熱を出した時は寮の友達に果物やヨーグルトや水分を買って来てもらった。

### 4-6. 保険、OSSMAの利用について

特になかった。寮に一度ベッドバグが出た際にホテルに泊まらなくてはならず、保障できるが尋ねたが、保障してもらえなかった。ただ、保険に入っている安心感はあったと思う。

### 4-7. 課外活動について

授業以外にクラブ活動などは特になく、課外活動はしていなかった。ESNという留学生の団体があったので、課外活動をしたい人はそれに所属すると良いと思う。

### 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

寮の人もほぼETHかUZH(ETHの隣の大学)の生徒で、あまり学外の人と交流をもつ機会がなかった。

### 4-9. 日本から持参してよかったもの

喉スプレー、カップラーメン、日本の調味料、体温計、ハンドソープ

### 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

多すぎる洋服、日本の大学で使っていた本や英語の資格の本

### 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

肘をついてご飯を食べるのも、ヨーロッパの人はよくする。逆に麺をすすったりしてはいけない。電車の中でベビーカーを手伝うのは積極的にする人が本当に多い。横断歩道では日本よりも歩行者優先。

## 4-12. 余暇の過ごし方

## 旅行

ベルン(スイス) 1万円くらい  
ローマ、ミラノ(イタリア) 20万円くらい

その他 \*気分転換やストレス発散法など。

寮の友達とたくさん喋ったり、友達と映画をみる

## 5. その他

## 5-1. 留学先大学について

世界の大学ランキングトップ10に入る名門大学。コンピューターサイエンス学部は規模が大きく優秀な学生がたくさんいて、授業がとても活発だった。留学生なら、他の学部の授業も一定単位数まで受講してよく、知識の幅を広げることができた。

## 5-2. 留学希望者へのアドバイス

留学経験がこれまでなく英語が不安、という人は日本にいる時からひたすら英語に馴染む生活をしたら良いと思う。みるテレビも英語で、何か専門知識を調べるのも英語、聞く音楽も洋楽など、できるところからリスニングに慣れていけば、留学先で楽だと思う。

## 5-3. 留学を終えて

本当に留学に行ってよかったと思う。まず、英語が格段に上達したことが本当によかった。留学の渡航前は、海外で生活したことがなく、スピーキングやリスニングに自信がなく、春休みを使ってマンツーマンの英会話教室に通った。最初に受けたレベル診断では下から2番目の初心者コースで、中高で英語を勉強してきたのにショックだった。留学中はとにかく英語だけを話し、日本人とつるまないことを意識し、常に授業の内容も英語で調べることを意識していた。また、友達と頻繁に英語字幕で映画を見た。初めての友達とのプロジェクトのディスカッションもうまくすることができた。留学から帰国し、今ではドラマや映画はほとんど字幕なしで見れるようになり、洋書の小説を読むのもだんだん慣れてきた。

専門知識の面でもかなり成長できたと思う。行く前はプログラミングもままならなかったが、興味があった人口知能や機械学習の授業をとったり、機械学習のプロジェクトに参加し、専門知識がしっかりついただけでなく、機械学習のプログラムのインプリメントの経験もつめた。

9月からは機械学習エンジニアとしてインターンをすることが決まっている。留学中にたくさんの知識を身につけることができたので、これからの大学生活はそれを実践に移すことができたら良いと考えている。また、日本でしばらくインターンをしたら、海外インターンもしたいと考えている。